

科目名	世界史A	履修学年	第2学年
		履修形態	必修
		履修単位	2単位

使用教科書 (出版社)	世界史A (東京書籍)
----------------	-------------

使用教材 (出版社)	明解世界史図説エスカリエ (帝国書院)
---------------	---------------------

### 学習の目標

現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的、地理的に考察することで現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 教科担当者から

歴史は過去のことを学ぶ学問であると言われます。しかし一方で、過去を知るからこそ、「今、いったいこの世界の何が問題なのか」を知ることができるという魅力もあると思います。得られるものは、すぐに役立つ解決の方法ではないかもしれませんが、しかし、この未完成で発展途上の人間社会を見渡したときに、私たちや世界の人々を苦しめるたくさんの問題は、いったいなぜ起こってしまったのか。私たちは、この世界と私たちの暮らしをほんの少しでも良いものにするために、何をしていくべきなのか。世界史Aは、近現代の時代を中心に学習しながら、この課題に取り組みます。ここから、世界を見渡す力を養って行ってください。

### 評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
規準	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見つけ、世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料から、有用な情報を選択して活用することで、歴史的な事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

方法 ※ ◎は観点の中でより重視するところです。

観察	◎			
ノート	◎	○		
課題	○	○	◎	○
小テスト		◎		○
考査		○	○	◎
割合	10%	20%	20%	50%

### 評価の基準 ※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
100点～85点程度	84点～65点程度	64点～45点程度	44点～30点程度	30点未満

学習内容							
学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点			時間
				関	思	資	
前期	4, 5	第1部 近・現代世界史の背景 第1章 ユーラシアの諸地域世界	ユーラシア大陸の歴史の中で育まれてきた特質について学ぶとともに、大陸内の諸地域の間で、海と陸とを經由する交流が深まったことで成立したユーラシア規模の交流圏について理解する。	○	○	○	12
	6, 7	第2部 成熟するアジアと世界へとむかうヨーロッパ 第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ (含：前期中間考査)	ヨーロッパがアジアとの直接交易を目指して大航海に乗り出し、地球規模での交流と一体化が始まったことや、アジア・ヨーロッパ・アメリカ地域を中心に、17～18世紀に広まった世界の特色について理解する。	○	○	○	8
	8, 9	第3章 大西洋世界の変容とその波及		○	○	○	8
	9	第4章 産業化社会の拡大と成熟 (含：前期期末考査)	ヨーロッパ・アメリカでの資本主義の確立と近代国民国家の形成と展開について理解する。また、ヨーロッパ諸国のアジア進出による影響について学び、19世紀の世界の一体化とその特質についても理解する。	○	○		7
後期	10	第5章 アジア諸国の変貌と日本		○		○	6
	10, 11	第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代 (含：後期中間考査)		○	○	○	9
	12, 1	第7章 二つの世界大戦の時代	一体化が進んだ世界が、二つの世界大戦を経験し、その国際関係を大きく変えていったことを学ぶ。またその原因や世界に与えた影響を理解し、平和の意義や大切さとは何かについて考える。	○	○	○	8
	1, 2	第8章 冷戦と民族独立の時代 (含：後期期末考査)	第二次世界大戦後、アメリカ・ソ連を中心とする二つの陣営の対立、アジア・アフリカ諸国の植民地支配からの独立について学ぶ。また、当時の諸国が抱えていた問題について考察する。	○	○	○	6
	2, 3	第9章 グローバル化のなかの危機	環境問題や南北問題、地域紛争など、全人類が取り組まなければならない課題について理解する。また、国際社会に主体的に生きる日本人としてできることは何か考察する。	○	○	○	6
							70